

第2回岐阜県職業能力開発施設運営改革検討会

議事要旨

1 開催日時及び場所

平成30年10月16日（火）13時30分～15時

OKBふれあい会館 405会議室

2 出席者

八黄地宏座長代理、荒川晶一委員、長瀬幸泰委員、川浦且博委員、森幹治委員、高野栄子委員、林彰委員、亀谷徹委員、大江隆宗委員、藤原広行委員、北山庸夫委員、小田江理子委員

3 事務局

商工労働部次長、労働雇用課長、労働雇用課人材育成企画監、国際たくみアカデミー校長、国際たくみアカデミー管理部長、国際たくみアカデミー担当主幹、木工芸術スクール校長、岐阜労働局職業安定部訓練室長

4 会議の概要

- ・あいさつ
- ・座長代理選出
- ・資料説明
- ・意見交換

5 主な意見

○学校のブランド化について

- ・高校でも大学でもない、岐阜県の職業能力開発施設としてのポジションをどこに置くかが最も重要である。
- ・岐阜県だからできる授業を行っていくことが必要ではないか。
- ・定員充足率の低い住宅建築科や設備システム科で、資格を取ったらどこに就職できるのかを示すことが必要ではないか。

○カリキュラムの見直しについて

- ・木工芸術スクールの2年コースの設定を検討してはどうか。

- ・たくみアカデミーを修了し、その後の在職者訓練と合わせて資格を取れるようなカリキュラムができるとよい。

○入校生のターゲットについて

- ・子供が少ない時代なので、離職者へのPRに力を入れるべき。女性でも大工や配管工になりたい人はいるので、女性へのPRに力を入れるべき。